

通 信

沖縄生物学会第48回大会の開催のお知らせと講演プログラム

会期:2011年6月4日(土)

会場:琉球大学 理系複合棟 102 教室・大学会館(3F)

*本大会は、第47回日本動物分類学会との合同大会です。

沖縄生物学会の第48回大会を下記の要領で開催いたします。第48回大会は、日本動物分類学会第47回大会と合同で行う予定です。今大会は30題以上の発表があります。昨年同様、小学生によるポスター発表(3題)もあります。本年度大会の公開シンポジウムは、生物地理学に関連した講演・議論を予定しております。また、第2回池原賞の受賞講演もあります。多数の方のご参加をお待ち申し上げます。

大会日程

6月4日(土)	受 付	8:30~	理系複合棟玄関ホール
	一般講演	9:00~12:00	理系複合棟 1階
	休 憩(昼食)	12:00~13:00	
	集合写真	13:00~13:15	
	総 会	13:15~14:00	理系複合棟 1階
	受賞講演	14:00~14:30	理系複合棟 1階
	小学生ポスター発表	14:35~15:00	理系複合棟玄関ホール
	一般ポスター発表	15:00~16:00	理系複合棟玄関ホール
	一般講演	16:00~17:15	理系複合棟 1階
	沖生会・動物分類学会 合同公開シンポジウム	17:25~19:05	大学会館 3階
	沖生会・動物分類学会 合同懇親会	19:15~	琉球大学生協中央食堂
6月5日(日)	エクスカージョン	13:00~	

沖縄生物学会第48回大会参加費:1,500円 (学生 1,000円)

懇親会費:沖生会・動物分類学会
3,000円 (学生 2,000円)

場所:琉球大学
沖縄県中頭郡西原町千原一番地

大会会場:琉球大学理系複合棟 102 教室
および1階玄関ホール
(右地図の赤く表示された建物)
公開シンポジウム会場:大学会館 3階
懇親会会場:大学生協中央食堂
(シンポジウム会場・大学会館向かい)



プログラム

一般講演(理系複合棟102教室)【午前部 9:00~12:00】

- O1. 9:00~9:15 高良拓夫 仲村昇発行「ふるさとの草木」に掲載された絶滅危惧種写真の検証
- O2. 9:15~9:30 ○山田文雄¹・中田勝士²・村田知慧³・木戸文香³・黒岩麻里³・城ヶ原貴通⁴・越本知大⁵・三谷匡⁶・阿部慎太郎²・河内紀浩⁷・小高信彦¹・高嶋敦史⁸ (¹森林総研, ²環境省那覇, ³北海道大, ⁴岡山理大, ⁵宮崎大, ⁶近畿大, ⁷島嶼生物研, ⁸琉球大) オキナワトゲネズミ *Tokudaia muenninki* の2009年調査以降に確認された新たな生息地
- O3. 9:30~9:45 ○上野大輔(琉球大・理)・藤田喜久(琉球大・大学教育センター/NPO 法人海の自然史研究所)・長澤和也(広島大院・生物圏科学) 久米島におけるイカリムシ(カイアシ亜綱:ケンミジンコ目:イカリムシ科)の発見—琉球列島における初記録
- O4. 9:45~10:00 ○藤田喜久(琉球大・大学教育センター/NPO 法人海の自然史研究所)・成瀬 貫(琉球大・亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構)・上野大輔(琉球大・理) 久米島の海底鍾乳洞から得られたヌマエビ科エビ類について
- O5. 10:00~10:15 田中 聡(沖縄県立博物館・美術館) 外来種シロアゴガエルの生活史戦略、ならびに泡巣除去による防除効果について

<休憩> 10:15~10:30

- O6. 10:30~10:45 嶋津信彦 2003~2011年沖縄島300水系における外来水生生物の分布記録
- O7. 10:45~11:00 ○飯田勇次(唐津市立北波多中学校)・田中邦明(北海道教育大・函館校) 中学校選択理科の実践例II~ニホンヒキガエルの変態期の呼吸について~
- O8. 11:00~11:15 ○栗田隆気(琉球大院・理工)・本多正尚(筑波大院・生命環境)・戸田 守(琉球大・熱生研) クロイワトカゲモドキの遺伝的集団構造に見られる地理的パターン
- O9. 11:15~11:30 ○下瀬 環・名波 敦(西海区水産研究所・亜熱帯研究センター) 沖縄島と石垣島における水揚げ状況から推定したフエダイ属魚類の分布様式
- O10. 11:30~11:45 ○宮国泰史(鹿児島大院・連農)・杉尾幸司(琉球大・教)・辻 和希(琉球大・農) コウシュンシロアリにおけるコロニーの性比構造

休憩(昼食)【12:00~13:00】

集合写真(理系複合棟一階玄関ホール)【13:00~13:15】

沖縄生物学会総会(理系複合棟102教室)【13:15~14:00】

池原貞雄記念賞受賞者講演(理系複合棟102教室)【14:00~14:30】

「ノグチゲラと暮らせる森づくりに向けて」

小高信彦(森林総研・九州支所)

ポスター講演<小学生他>(理系複合棟一階玄関ホール)

【14:35～15:00】

- Pa. 船附知将・糸嶺春華・仲村 出(座間味村立阿嘉小学校)・遠藤 晃(南九州大) ケラマジカの糞調査
I:葉の食べかた、糞のできかた・しかたについて
- Pb. 糸嶺春華・船附知将・仲村 出(座間味村立阿嘉小学校)・遠藤 晃(南九州大) ケラマジカの糞調査
II:糞の中について
- Pc. 大村真生 (座間味村立慶留間小学校、現慶留間中学校) センダングサの研究

ポスター講演<一般>(理系複合棟一階玄関ホール)【15:00～16:00】

- P1. 遠藤 晃 (南九州大) 慶留間小学校の総合学習における環境教育「ケラマ節プロジェクト」について
(※小学生のポスター講演時間帯に発表)
- P2. ○山田文雄¹・佐々木茂樹²・橋本琢磨³・阿部慎太郎⁴ (¹森林総研, ²横浜国大, ³自然環境研究センター, ⁴環境省那覇) センサーカメラによる残存マングースの検出率と生息数の推定
- P3. ○當山ちひろ・傳田哲郎・小林 峻・中本 敦・伊澤雅子 (琉球大・理) オリイオオコウモリによるイルカダの採餌とそれに伴う花の裂開
- P4. ○昆 健志(東邦大・理)・西田 睦(東京大・大気海洋研)・西川輝昭(東邦大・理) カタナメクジウオ属 *Epigonichthys* (頭索動物亜門)の分子系統解析と琉球列島からの日本初記録種発見
- P5. ○當山未樹(沖縄高専・専攻科)・山城秀之(沖縄高専・生物資源工学科) 八放サンゴのアミメヒラヤギに付着するシアノバクテリアについて
- P6. ○北野 忠・濱田康正・佐野真吾・佐藤光紀・藤野裕弘(東海大院・人間環境学研究科)・水谷 晃・崎原 健・河野裕美(東海大・沖縄地域研究センター) 八重山諸島小浜島・波照間島・黒島で確認された水生甲虫類
- P7. ○岩崎哲也・伊澤雅子(琉球大・理) 西表島におけるシロハラクイナの生活史と非繁殖期の環境利用
- P8. ○布施綾子¹・塩野崎和美¹・山田文雄² (¹ 京都大院・地球環境, ² 森林総研) リュウキュウイノシシの出没傾向ー奄美大島、鳩浜においてー
- P9. ○塩野崎和美¹・山田文雄²・佐々木茂樹³・森本幸裕¹ (¹ 東京大院・地球環境, ² 森林総研, ³ 横浜国大) 奄美大島鳩浜地区における自動撮影カメラに撮影されたネコの行動圏と出没傾向
- P10. 山城秀之 (沖縄高専・生物資源工学科) コモンサンゴ類群体上に付着する珪藻類の局所的ブルームについて
- P11. ○河野裕美・水谷 晃 (東海大・沖縄地域研) 仲ノ神島におけるセグロアジサシ個体群の現状
- P12. ○神野正樹¹・水谷晃²・木村賢史³・小菅丈治⁴・河野裕美² (¹ 東海大院・海洋, ² 東海大・沖縄地域研, ³ 東海大・海洋, ⁴ マングローブ協会) 西表島浦内川河口干潟におけるミナミコメツキガニ

の分布特性

- P13. ○広瀬裕一・広瀬慎美子（琉球大・理・海洋自然）久米島で見つかった藍藻共生性ホヤの未記載種 *Lissoclinum* sp.
- P14. ○成瀬 貫¹・長井 隆²・前之園唯史³・大澤正幸⁴・佐伯智史³・西垣孝治⁵・藤田喜久^{6,7}・駒井 智⁸・Ng Ngan Kee⁹（¹琉球大・亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構, ²沖縄県環境科学センター, ³Tsudoi Company, ⁴島根大・汽水域研究センター, ⁵沖縄環境保全研究所, ⁶琉球大・大学教育センター, ⁷NPO 法人海の自然史研究所, ⁸千葉県立中央博物館, ⁹Department of Biological Sciences, National University of Singapore）近年琉球列島から発見されたイワガニ上科の8稀種

一般講演(理系複合棟 102 教室)【午後の部 16:00～16:45】

- O11. 16:00～16:15 保坂健太郎（国立科博・植物）小笠原諸島のタコノキ林で採集された担子菌2新種の報告
- O12. 16:15～16:30 ○安部真理子^{1,2}・大野正人²・中井達郎³・中野義勝⁴（¹沖縄リーフチェック研究会, ²日本自然保護協会, ³国土館大, ⁴琉球大）市民によるサンゴ群集モニタリングー沖縄島・大浦湾におけるアオサンゴ(*Heliopora coerulea*)群集の変遷の記録ー
- O13. 16:30～16:45 河野裕美¹・○水谷 晃¹・村越未来¹・関川宏美²・星野雄仁²・斎藤敏郎³（¹東海大・沖縄地域研, ²水産総研・東北水研, ³東海大・海洋）西表島浦内川河口干潟におけるコサギのフグ毒保有ツムギハゼの捕食による死亡例
- O14. 16:45～17:00 河野裕美¹・水谷 晃¹・○村越未来¹・矢野寿和²・田中 彰³（¹東海大・沖縄地域研, ²水産総研・東北水研, ³東海大・海洋）石垣・西表島周辺海域で捕獲されたサメ類の胃内容物として出現した鳥類(予報)
- O15. 17:00～17:15 ○新垣則雄・外間康洋・永山敦士(沖農研)・安藤緑樹(病防セ)・谷崎樹生(石垣市)・村路雅彦・安居拓恵・若村定男・秋野順治・平井剛夫(農生研) 石垣島において成虫発生が異時的なケブカアチャコガネの分布様式と遺伝的解析

沖縄生物学会第48回大会・日本動物分類学会第47回大会
合同公開シンポジウム
後援:琉球大学理学部 海洋自然科学科生物系
(大学会館3階)【17:25～19:05】

「琉球の生物地理——今後の展開に向けて」

＜世話役＞

戸田 守(琉球大・熱生研)・富永 篤(琉球大・教育)

＜趣旨＞

これまで、琉球を舞台とした生物地理学的研究というと、島嶼の歴史的分断とそれに伴う陸生生物集団の分化という、いわゆる分断生物地理学的な点に関心が高かった。本シンポジウムでは、分断生物地理とは異なる視点から進められている最近の研究を紹介していただき、今後、この分野の研究に対し琉球がどのように貢献していきうのか、その可能性について検討する。

＜プログラム＞

17:25～17:30 戸田 守(琉球大・熱生研)

「趣旨説明」

17:30～17:50 國府方吾郎(国立科博・植物)・横田昌嗣(琉球大・理)

「陸生植物も海を渡る—琉球における植物分散の追跡—」

17:50～18:10 井口 亮(琉球大・熱生研)

「北限サンゴ礁海域における海洋性ベントスの遺伝的集団構造」

18:10～18:30 鶴崎展巨(鳥取大・地域学部)

「ザトウムシの仲間からみた琉球の島嶼生物地理」

18:30～18:45 戸田 守(琉球大・熱生研)

「メタ個体群の考え方に基づく両生爬虫類の島嶼間分散の推定の試み」

18:45～19:05

総合討論 司会:富永 篤(琉球大・教育)「今後の展望を巡って」

沖縄生物学会・日本動物分類学会 合同懇親会
大学生協中央食堂(大学会館向かい)【19:15～】

シンポジウム終了後、構内の大学生協食堂に移動し、ささやかな懇親会を予定しております。講演時間内に出来なかった討論や会員同士の親睦をより深めるため、是非ご参加下さい。

エクスカージョン(6月5日)【13:00～】

6月5日(13:00～)開催のエクスカージョンは、大学近辺の磯観察を予定しております。参加希望者は、5月27日(金)までに以下へメールにてご連絡ください。

*連絡先:narusetohru@gmail.com 成瀬 貫 日本動物分類学会大会委員長 宛

沖縄生物学会評議会報告

1. 概要

沖縄生物学会評議会が2011年4月25日(月)午後7時から1時間20分ほど、琉球大学理学部528教室において開催されました。参加者は20名でした。

2. 内容

1) 第2回池原賞受賞者の決定について

選考委員長から、選考の経緯と結果について報告があり、評議員から承諾されました。

2) 第48回大会の準備状況

大会の準備状況について、大会準備委員より報告がありました。

詳細は1~5ページをご覧ください。

3) 第47回大会の合同シンポジウムの内容、準備状況

シンポジウムの内容・準備状況について、世話人の戸田庶務幹事から報告がありました。

詳細は4~5ページをご覧ください。

4) 第48回大会総会での議題・司会と議長団について

次回5月23日の評議会で決定することとなりました。

5) 大会ポスター(小学生枠)への交通費支援について

前回大会の繰越金をもとに支出する案が出されました。

6) 第49回大会(2012年)の日程について

琉球大学を会場に、2012年5月26日(土)に行う方針が了承されました。

7) 「学術登録団体」の取り組みについて

昨年度からの申請状況について、今年度申請についての確認事項等が報告されました。

8) 役員の変更について

転勤などの事情によって評議員を続けることが困難な場合については、後任を探して評議員会、総会で承認を得ること。要望に応じて新しい評議員体制を決める方針で了承されました。

9) 池原先生記念出版事業の進行状況

記念出版事業委員長より報告があり、現在、査読・編集が行われていることが報告されました。

会員の方々からも沖縄生物学会への思い、ご意見、活動、紹介したい内容などがございましたら、事務局にお知らせいただくか、学会のホームページにお寄せ下さい。

電子メールは、okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp です。

評議員の皆様へのお知らせ

沖縄生物学会評議会を、2011年5月23日(月曜)19時より、琉球大学理学部本館5階528室にて開催致します。ご参加下さいますよう、よろしくお願い致します。

議題は、1)48回大会準備状況について、2)沖生誌投稿規程改訂について、3)その他です。

沖縄生物学会役員一覧表

沖縄生物学会の会長、副会長、監査員および評議員が下記のように選出され、前回の総会で承認されました。任期は、2010年5月30日から2012年5月の総会までです。

会長 横田昌嗣(琉球大学)
副会長 山城秀之(沖縄工業高等専門学校) 久場政春(生物教育研究会会長)

監査員 村上美穂子(鏡が丘特別支援学校) 武村栄子(沖縄建設弘済会)
吉野弘美(琉球大学生物事務)

評議員

大学関係 盛口 満(沖縄大学) 金城和三(沖縄国際大学)
磯村尚子(沖縄工業高等専門学校)

研究機関 浜口寿夫(県立博物館) 野中正法(沖縄美ら海水族館)
長井 隆(財・沖縄県環境科学センター)

行政機関 稲福 弘(沖縄県企画部) 澤志泰正(那覇自然環境事務所)

高校関係 当間順一(首里高校) 嵩原建二(美里特別支援学校)
豊見山 元(コザ高校)

中学校関係 木山淳一(琉球大学附属中学校)

庶務 須田彰一郎(琉球大学) 中村 崇(琉球大学)
富永 篤(琉球大学) 戸田 守(琉球大学)
山川(矢敷)彩子(沖縄国際大学)

会計 傳田哲郎(琉球大学) 玉城 歩(琉球大学)

編集幹事 成瀬 貫(琉球大学) 伊藤竜一(琉球大学)
編集委員 久保田康裕(琉球大学) 太田英利(兵庫県立大学)
大瀧丈二(琉球大学) 今井秀行(琉球大学)

会員の方々からも沖縄生物学会への思い、ご意見、活動、紹介したい内容などがございましたら、事務局にお知らせいただくか、学会のホームページにお寄せ下さい。電子メールは、okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp です。

沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会沖縄営業所 所長 安次嶺 学
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098)868-6373

株式会社 森山商事 代表取締役 森山紹政
〒902-0064 那覇市寄宮2丁目29番22号 (098)835-4056

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石哲也
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098)942-0085

* **原稿募集のお知らせ** *
*
* これまで沖縄生物学会誌では、12月末に「締め切り日」を設け、この日までに投 *
* 稿された原稿を全て掲載してきました。しかし、一部論文では審査が長引き、その結 *
* 果、出版が本来の3月末から大幅に遅れ、9月や10月に発行されていました。そこ *
* で、45号より締め切り日を廃止し、期日までに投稿されたものでなく、印刷業者への *
* 入稿日までに審査の終わったものを掲載するように変更しました。 *
* 1回の審査には、早くも2週間、通常は2ヶ月程度要しています。編集委員会での *
* 承認や校正作業、さらには年度末の印刷業者の混み具合、査読者への負担等を考 *
* えると、年明けに審査の終了していない論文は掲載が非常に難しくなります。 *
* つきましては、諸事情をご理解の上、何卒お早めのご投稿をお願いします。投稿 *
* に際しては、45号より投稿規定が大幅に変更されていますので、ご注意いただきま *
* すよう合わせてお願いします。 *
* なお、e-mailによる原稿に関するお問い合わせは、編集幹事の成瀬貫 *
* (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)までお寄せ下さい。 *
* 原稿送付先: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 *
* 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内 *
* 沖縄生物学会編集委員会 *

沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

生物系事務室 TEL:(098)895-8577

須田彰一郎(098)895-8564・中村 崇(098)895-8897

FAX:(098)895-8576, okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

振替口座 郵便:02030-8-30433 沖縄生物学会

銀行:琉球銀行宜野湾支店 普通051-065沖縄生物学会